

令和7年度（2025年度）北海道稚内養護学校 学校経営方針

令和7年度（2025年度） 学 校 経 営 計 画

北海道稚内養護学校「教育理念」		
「明るく たくましく 希望をもって、障がいをはりこえる力を育てる」		
☐ 児童生徒の実態と教育環境 ☐ 児童生徒、保護者等と教職員の願い ☐ 地域社会との連携・協働 ☐ 学校教育の今日的課題	学校教育目標 「人々とかかわりながら、 社会で役割を担う元気な人を育てる」	☐ 憲法及び教育基本法の精神 ☐ 学校教育にかかわる法令等 ☐ 北海道教育のめざす姿 ☐ 宗谷管内教育推進計画
「人々とかかわりながら」	「社会で役割を担う」	「元気な人」
☐ 年齢に応じた社会性 ☐ 協調性 ☐ コミュニケーション能力 ☐ 望ましい人間関係の形成	☐ 自分の役割に主体的に取り組み、役割を果たす ・「やってみよう、頑張ろう、あきらめない」気持ち ・主体的な選択・決定 ・手伝いや仕事などの役割を果たす力 ・働く意欲や姿勢	☐ 心身の健康 ☐ 豊かな心 ☐ 安全に生活する力
具 体 目 標		
児童生徒が多くの人と関わり、「挑戦」や「協働」を体験し、「創造」することを通して、将来の社会自立・社会参加に向けた「社会で生きる力」を養う ☐ 社会で生きて働く知識及び技能を習得し、未来の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を身につけ、学びを人生や社会に生かそうとする児童生徒を育てる ☐ 社会的自立に向け、自己有用感・自己肯定感をもって、自分らしい生き方を展望し、実現する児童生徒を育てる		



今年度の重点目標：児童生徒の笑顔が増える「学び」と「地域」と「対話」～社会で生きる力を身に付けるために～					
教 務		舎 務		事 務	
学び 〈教育〉	学習指導要領を踏まえて、児童生徒と教師、児童生徒同士の対話による「授業」を通して、社会で生きる力を育む	学び 〈教育〉	生涯学習の理念を踏まえて、寄宿舎生と指導員、寄宿舎生同士の対話による「生活」を通して、社会で生きる力を育む	学び 〈教育〉	学校の学習指導・生徒指導・進路指導、寄宿舎の生活指導等々の対話による「教育活動」が、円滑に展開されるよう、学校事務を推進する
地域 〈文化〉	キャッチフレーズを通して、児童生徒・教師・保護者・地域との対話を続け、チーム力を発揮する学校をつくる	地域 〈文化〉	キャッチフレーズを通して、寄宿舎生・指導員・保護者・地域との対話を続け、チーム力を発揮する寄宿舎をつくる	地域 〈文化〉	キャッチフレーズを通して、職員間の対話を積極的に続け、チーム力を発揮する事務室をつくる
対話 〈経営〉	児童生徒の質の高い学校生活のために、コミュニティ・スクールでの運営委員と学校職員の対話を通して、効果的な学習環境を創造する	対話 〈経営〉	寄宿舎生の質の高い寄宿舎生活のために、コミュニティ・スクールでの運営委員と学校職員の対話を通して、効果的な生活環境を創造する	対話 〈経営〉	コミュニティ・スクールでの地域との対話を受け、学習環境が創造できるよう、効果的・効率的な学校事務を推進する

今年度の重点目標を達成するための「チーム（組織）づくり」を目指して	
教務部門、舎務部門、事務部門等において、当該部署の目的・役割を検討した上で、年度の重点目標を踏まえた実現可能な「下位目標（キャッチフレーズ）」を設定し、「共通の目標のために、誰が何をやろうとしているか、誰もがわかる」ようにする。 【組織づくりの三原則】 ① 職員による目標の共有化 ② 組織の構成員としての貢献（協働）意欲の高まり ③ 情報が共有され、コミュニケーションの活発化	

研 究 主 題
第26次校内研究「【仮】児童生徒が社会で生きる力を身に付けるための実践的研究～社会に開かれた教育課程の実現を目指して」（R7～R9の3か年計画）